

開講科目名	日本語聴解・会話初級B			
成績入力担当	林 美保	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG010	曜日・時限等	水1(対面)	時間割コード

授業のテーマ

初級レベルの聴解・会話能力の育成を図る。

授業の到達目標

1. 自分のことについて聴き取れる。
2. 自分の身の回りのことについて聴き取れる。
3. 自分のことについて話せる。
4. 自分の身の回りのことについて話せる。

授業の概要と計画

本授業は、日本語聴解・会話Aと連続で開講する授業科目のため、両方の授業を履修することが望ましい。授業のスケジュールは以下の通りです。

第1回 6/10 あいさつをする・尋ねる

第2回 6/17 会話を続ける

第3回 6/24 忘れ物を問い合わせる

第4回 7/1 事情を説明する・頼む

第5回 7/8 謝る

第6回 7/15 許可をもとめる

第7回 7/29 まとめ、期末試験

第8回 8/5 課題学習

計8回(15時間)

※第2回～第6回まで毎回、聴解の小テストがあります。テストの内容は授業で確認してください。

※各回の内容は変更されることがあります。

※シラバスは、変更される可能性があります。最新情報は授業に出て確認してください。

成績評価方法

1. 小テスト20%
2. 課題20%
3. 最終試験50%
4. 授業活動及び授業参加度10%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

成績評価基準

1. 日常生活における基本的な聴解・会話能力を身につけることができたか。
2. 状況やコンテキストに応じたスピーチレベルの使い分けができたか。
3. 日常生活の身近な事柄について、聞き取ることができ、正しい発音・語彙・文法・表現で話すことができたか。

履修上の注意（関連科目情報）

この授業は初級レベルの授業です。第3クォーターにおいて日本語聴解・会話初級Aを履修している、または、GEC-JTestで「初級レベル」と判定された学習者を対象とします。

関連科目情報：

- 「日本語読解・作文初級B」を同時に履修することが望ましい。
- 「日本語聴解・会話初級A」を事前に履修することが望ましい。

交換留学生（特別聴講学生）履修可

事前・事後学修

【事前学習】

語彙の意味、読み方を調べてくること。

【事後学習】

- 音声ファイルを聞いて、復習をすること（毎回リスニングの小テストを実施、出題範囲は授業内で知らせます）。
- 日常生活の中で習った表現を積極的に使用し、日本語の会話能力を向上させること。

※本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。授業時間外に質問があるときは、担当教員宛にメールを送ってください。

メールアドレス:m-hayashi[AT]people.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実アットマーク @ (半角) に置き換えた上で宛 先に入力。

学生へのメッセージ

授業で習った表現を、日常生活でも積極的に使用してください。

今年度の工夫

ピア学習を取り入れる。

教科書

改訂版 聞く・考える・話す 留学生のための初級にほんご会話 / 小池真理・中川道子・宮崎聡子・平塚真理 : スリーエーネットワーク, 2019, ISBN:9784883197866

参考書・参考資料等

特になし

授業における使用言語

日本語
日本語

キーワード

日本語 入門 初級 聴解 会話 交換留学生（特別聴講学生）